

II－医療と金融に関わる分野における日本の特異性と背景：全てが（一）とは言えないが

1，今の日本では常識に反すると思われるかもしれないことを一点

- ① 安心と安全の違い：安全は科学だが安心は違う：プラセボ効果も効果のうち
 - ・日本では安心と安全はとにかく当たり前に両立すべきものとして使われている
 - ・ヘロインの語源はヒーロー：19世紀には薬として使われていた
 - ・暗殺者アサシンの語源はハッシーシ：暗殺者は大麻を吸って出撃した
ージハードで死ねば死後天国で美女に囲まれた生活を送れると信じていたとも
ー一向宗の信徒は死後の世界を夢見て敵に突進して死んでいった
ー彼らはみな安心しきっていた：安心と安全は異なる：豊洲移転と原発廃水

2，医療と周辺業界の特異性

- ① 医療の原点：医の字の変遷：「醫」⇒「醫」⇒「医」
 - ・日本では医療はかなりなことができると考えられている
ー90歳を超える高齢者でもできるだけのことをすべきという医師が多い
 - ・例外もある：青梅慶友病院：積極的治療を行わない終末期医療
ー前理事長が「自分が最後を迎えたい施設を作る」として作ったという
 - ・ペニシリンの発見とコッホの抗体薬まで医療はほとんど何もできなかった
 - ・クリミヤ戦争の時、野戦病院の死亡率は90%を超えたという
ーナイチンゲールの登場の後は30%に激減：なぜか？：生きる希望か衛生か？
 - ・1950年代まで新生児の死亡率は極めて高かった
ー以降は人類未経験「自然淘汰が無く何が起きるかわからない」という人もいる
- ② 医療費40兆円の内訳
 - ・10兆円は最後の2年間で使われている
ー予防医学はしたがって医療費削減には役立たない：野村健保の例
ー健康寿命は延びても総医療費は上がるだけ
- ③ 日本の公的医療保険の他国との違い
 - ・人工透析に年齢制限を設けていない公的健保は日本だけ：病気腎移植もNO
ー高額療養還付金制度のある国も日本だけ：混合診療もNO
 - ・健保組合が沢山ある：組合健保、協会けんぽ、国民健保各種共済、高齢者健保
ーかつて健保は儲かった：今の健保は高齢者医療費の拠出金でどこも赤字
- ④ 日本医療改革の一部
 - ・1999年の介護保険制度：高齢者医療への混合診療を目指したが：果たせず
 - ・2003年のDPC：大きな成果は上げたが：急性期にとどまっている現実
 - ・2003年の研修医指定制度：白い巨頭の世界は部分的に止まったが
ー変わる力学は埋め込めなかった：コロナでは残ったところが機能した
 - ・国民皆保険制度を作った時の課長補佐が言う：もう混合診療は必須ではないか
- ⑤ 世界の医師と薬剤師の格：MDとPH.D：日本では違いが判らないが

- ・医師より薬剤師の方が格上の国の方が多い？：中国でも
- ・床屋のマークは3色：動脈と静脈とリンパ液といわれる
- ⑥ チーム医療とカースト制度
 - ・日本の医療はカースト制：だから効率的な面もある：多くの国ではチーム制
- ⑦ 日本の病院は儲かっていない：開業医は儲かっている
 - ・人工透析が一番儲かる：急性期病院は公的保険のみで純利益率2%
 - －民間病院の軸は高齢者医療と人間ドックに：コロナ前は医療ツーリズム
- ⑧ 欧米の健保：米国は後述
 - ・英独仏は皆保険だが10%弱の民間コンペティターがいる
 - ・因みに仏では会社はソシエテ：会社と社会は岩崎弥太郎と渋沢栄一
 - ・英国はサッチャーによるNHS改革の結果

3, 金融の世界でも日本の特異性はいくつもある

- ① 金の取引で消費税がかかる
 - ・金は金融資産の一つとして扱われているのが通例
 - －消費ではないから消費税はかからないのが一般的
- ② 永久債の無い先進国
 - ・無利子永久債を一定量もっているのが一般的
- ③ 資産の移動に税がかかる：NISAのような例外を除いて
 - ・資産はより良い資産に移管していかないと劣化する
 - －しかし資産の移管は消費ではないから消費税はかけないのが一般的
 - ・より良い資産に入れ替えていくことは国策に沿うため売却益課税も無いのが普通
 - －J-REITの資産入れ替えは不動産の資産移管：日本の税制では消費税がかかる
 - －従ってタックスヘイブンで資産移動を行っている
- ④ 再保険市場の無い先進国
 - ・保険は引き受ける立場と引き受けてもらう立場から成り立っている
 - －17世紀のロンドンにあった3つのコーヒー店の一つがロイズコーヒー店
 - ・先進国は引き受ける能力を持っているので引き受ける立場の市場を持つのが普通
 - ・再保険証券をJ-REITのような商品にすれば5%程度の金融商品ができる？
- ⑤ 安定株主が少ない先進国
 - ・米国株式市場では安定株主がマジョリティー
 - ・中国市場では中国共産党が75%を保有
 - ・世界の安定株主たちは安定株主が一定以上いない株など買うだろうか？
 - ・日銀とGPIFが購入するようになってやっと日本市場は安定してきた
- ⑥ 日本では年金受給者の方が給与所得者より多い
 - ・給与所得者が多ければ所得税優位は分かるが
 - ・年金受給者の方が多くなっている状況ではそれに合った税制を持たねばおかしい

- ・ 2000 兆円近い個人金融資産の大半は年金以外のフローの収入の無い層が保有
 - ・ 英国の税制の根幹は資産の大半を持ちフローの収入の少ない貴族のための税制
- ⑦ 自社株買いが美德とされる珍しい国
- ・ 米国では自社株買いはテキサスヘッジという
 - ー 死なばもろとも、一か八か：会社が潰れたら職も年金も失う
 - ・ 日本では株は危険なもの、持株会に参加しないとおかしなやつ：近江商人の伝統？
- ⑧ 成長国は PL、成熟国は BS
- ・ 事業収益が金融収益を上回っていれば事業に投資：PL だけ見て突っ走ればいい
 - ・ 成熟国になれば金融収益を重点に考えざるを得ない
- ⑨ 30 年間上がっていないのは賃金だけではない
- ・ 1990 年の大卒初任給は 20 万円
 - ・ 1987 年のブラックマンデー：日経平均 29000 円、NY ダウ 2900 ドル
- ⑩ クレジットビジネスが金利ビジネスでなく加盟店手数料ビジネスになっている
- ⑪ 民間生保が 100 年以上前から成り立っていた：日本人とドイツ人だけとも
- 4, 両方の特異性に共通するもの：社会構造の大きな変化に応じた変化ができていない
- ① 成り立ちの時をしてみる
- ・ 皆保険 1961 年、証券不況 1965 年、赤字国債 1974 年、プラザ合意 1985 年
- ② 1960 年の幾つかのこと
- ・ 初代トヨペットクラウンができた：大卒初任給一万円の時 127 万円だった
 - ・ 車は 200 万台、電話は 150 万台、コンピュータは軍事用：100、15、35、50
 - ー 35 歳の中曽根康弘氏が科学技術庁長官、40 年後の日本という本を監修
 - ー 予測値車 4000 万台：7000 万台で首都高はパンク、コンピュータは大外れ
 - ・ オリンピックに向けて新幹線と高速道路を作っていた：首都高は 2 車線
 - ー 東京タワーも朝鮮戦争の戦車の残骸で作られた
- ③ 人口構成の変化：別紙
- ④ 産業構造の変化：別紙
- 5, 社会構造が変わったからには意識も制度も変わらねばならないのではないか
- ① 医療の世界では
- ・ オミクロンがいい例
 - ー 若者は治るが基礎疾患のある高齢者は一定数亡くなる
 - ー オミクロンで亡くなる患者の大半は風邪でもインフルでも亡くなる
 - ・ 日本病院会元会長の言
- ② 金融の世界では
- ・ 1995 年の中国では万元戸という言葉があった
 - ー 当時の上海 A 株全銘柄を単位株で購入すると当時の円で 70 万円
 - ・ 個人金融資産 2000 兆円弱の大半が現預金は異常？